

・コンプライアンス指針

- ATRでは、心地よい未来の暮らしを目指して「情報通信関連分野における先駆的・独創的研究を推進による国際社会への貢献」を主な基本理念として、コンプライアンスの推進に取り組んでいます。
- 昨今、企業不祥事の発生が相次いでいること、2005年4月1日から個人情報保護法が全面施行されたこともあり、コンプライアンスの徹底が益々重要となっています。さらに、ATR-Promotions、ATR-Robotics、ATR-Trek、ATR-Learning Technology 及びATR-Sensetech共々、グループ一体となったコンプライアンスの確立が必要不可欠となっています。
- ATRでは、上記のような状況を鑑み、グループ理念を具体化し、これを実践するために、行動の基本原則を「ATRコンプライアンス指針」として以下の通り定めます。
 1. ATRグループのすべての社員は、法令等の遵守はもとより、誠実かつ公正で透明性の高い企業活動を遂行できるよう、公私を問わず高い倫理感を持って行動する。
 2. ATRグループのすべての社員は、業務遂行上必要かつ有益な情報については積極的に情報共有を図る一方、企業内秘密情報、個人情報の扱いについては十分に注意を払って行動する。
 3. ATRグループのすべての社員は、コンプライアンスに反する事実を知った場合には、上司などにその事実を速やかに報告するとともに「コンプライアンス窓口」に通報する。なお、通報した社員は、報告したことによる不利益が生じないよう保護される。
 4. マネージメント層は、コンプライアンスの実践の重要性を強く認識し、本行動指針を社内に浸透させるとともに、万一これに反する事態が発生した時には、自ら進んで問題の解決に当たる。
 5. ATRグループ各社は、コンプライアンスに反する行動が発生した場合には、迅速に適切な対処を行う。
 6. ATRグループ各社は、コンプライアンスに関する社員教育を積極的に実施する。